

ESOTERIC

Grandioso P1
Super Audio CD Transport

取扱説明書



目次

安全にお使いいただくために	4
お使いになる前に	7
付属品の確認	7
設置について	7
お手入れ	7
使用上の注意	8
電源の極性について	8
ディスクについて	8
接続 (本体)	10
接続 (電源部)	12
各部の名称 (本体)	14
各部の名称 (電源部 / ディスプレー)	15
各部の名称 (リモコン)	16
リモコンについて	17
基本操作	18
電源オン / オフ	18
再生	18
一時停止する	19
再生をやめる	19
ディストレーを開閉する	20
数字キーで選んで再生する	20
スキップする	20
早戻し / 早送りする (スキャン)	21
リピート再生	21
トラックリピート	21
ディスクリピート	21
プログラム再生	22
プログラムした最後の曲番を削除するには	23
プログラムの最後に曲を追加するには	23
全てのプログラム内容を消去して通常の再生に戻るには	23
再生エリアの切換	24
2 チャンネル / マルチチャンネルの切換	24
2ch (2 チャンネル)	24
Multi (マルチチャンネル)	24
ディスプレイ	25
ディマー	25
設定モード	26
設定モード時の表示と内容	27
出力端子 / フォーマット設定	27
アップコンバート・アルゴリズム設定	28
クロックシンクモード設定	28

クロックシンク入力端子設定	28
D/A コンバーター設定	28
優先再生エリア設定	29
自動ディスプレイ消灯設定	29
オート・パワー・セーブ機能設定	29
出荷時の状態に戻す	30
困ったときは	30
仕様	32
i.LINK (IEEE1394)	33
保証とアフターサービス	34
リアパネル (本体)	35
リアパネル (電源部)	36

"DSD" is a registered trademark.

"Super Audio CD" is a registered trademark.

This product incorporates copy protection technology that is protected by U.S. patents and other intellectual property rights of Rovi Corporation. The use of Rovi Corporation's copy protection technology in the product must be authorized by Rovi Corporation.

Reverse engineering and disassembly are prohibited.

"i.LINK" および "i.LINK" ロゴは、商標です。

MEXCEL は三菱電線工業株式会社の登録商標です。

ESOTERIC およびエソテリックは、ティアック株式会社の登録商標です。

その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

	警告 以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 電源プラグをコンセントから抜く	万一、異常が起きたら 煙が出たり、変なにおいや音がするときは 機器の内部に異物や水などが入ったときは この機器を落としたり、カバーを破損したときは すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティアック修理センター（37 ページに記載）に修理をご依頼ください。
 禁止	電源コードを傷つけない 電源コードの上に重いものをのせたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしない 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、電源コードが破損したら（芯線の露出、断線など）、販売店またはティアック修理センター（37 ページに記載）に交換をご依頼ください。 付属の電源コードを他の機器に使用しない 故障、火災、感電の原因となります。 交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。 この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し（20cm 以上）離して置く ラックなどに入れるときは、機器の天面から 5cm 以上、背面から 10cm 以上のすきまをあげる すきまをあげないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。 この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしない 火災・感電の原因となります。 この機器の通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
 指示	電源プラグにほこりをためない 電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。 定期的（年 1 回くらい）に電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。
 禁止	機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。
 分解禁止	この機器のカバーは絶対に外さない カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）にご依頼ください。 この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。



注意

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



電源プラグを
コンセントから
抜く

移動させる場合は、電源のスイッチを切るか、またはスタンバイにし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外す
ケーブルが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。

旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く

通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となることがあります。



指示

オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する
また、接続は指定のケーブルを使用する

電源を入れる前には、音量を最小にする
突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

この機器は本体 27kg、電源 24kg あり大変重いので、開梱や持ち運びの際はけがをしないように注意する。

この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする
異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。

この機器には、付属の電源コードを使用する
それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない
湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない
調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない
火災・感電やけがの原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。



禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因となることがあります。



愛情点検

電源コードや本体に異常がないか、定期的に点検してください。
内部にほこりがたまったら、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
5年に1度は、販売店またはティアック修理センター(37ページ)に内部の点検をご依頼ください。
費用についてはお問い合わせください。

安全にお使いいただくために（続き）

電池の取り扱いについて

本製品は電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどの原因となりますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

 警告 乾電池に関する注意	
 禁止	乾電池は絶対に充電しない。 破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

 警告 電池に関する警告	
 強制	電池を入れるときは、極性表示（プラス ⊕ とマイナス ⊖ の向き）に注意し、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れる。 間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
	長時間使用しないときは電池を取り出しておく。 液が漏れて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液が漏れた場合は、電池ケースに付いた液を良く拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一漏れた液が身体に付いたときは、水で良く洗い流してください。
 禁止	指定以外の電池は使用しない。 新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しない。 破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損することがあります。
	炎天下の車内や暖房器具のそばなど、温度が高くなるところで保管しない 本体の変形によるショートや発火、故障、電池の劣化の原因となります。

 注意 電池に関する注意	
 禁止	金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない。 ショートして液漏れや破裂などの原因となることがあります。
	電池を熱したり、火または水に投げ入れたりしない 電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
 分解禁止	分解しない。 電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。

お使いになる前に

エソテリック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

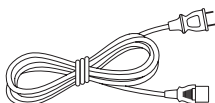
エソテリック製品は、最良の音質で末永くお使いいただくために、一台一台を厳しい品質管理のもとに製造しております。最良のコンディションでお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに保証書と一緒に大切に保管してください。

末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

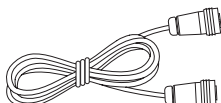
付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店または弊社 AV お客様相談室 (37 ページに記載) にご連絡ください。

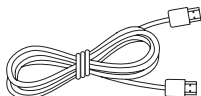
電源コード × 1



DC 電源コード × 2



HDMI ケーブル × 1



リモコン
(RC-1156) × 1



リモコン用乾電池
(単 3) × 2

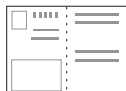


フェルト × 4 枚



取扱説明書 (本書) × 1

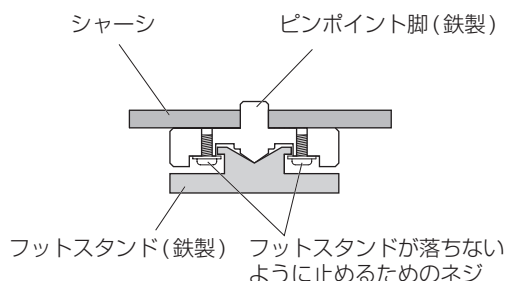
ご愛用者カード × 1



設置について

本機の底板には、高精度の鉄製ピンポイント脚が強固に取り付けられています。

フットスタンドはぐらついた状態になっていますが、設置するとピンポイント支持になり、振動を効果的に分散させます。



- 設置面を傷付けたくない場合は、フットスタンドの裏に付属のフェルトを貼ってお使いください。

お手入れ

製品表面の汚れは、乾いた柔らかい布で拭いてください。ひどい汚れのときは、固く絞った布で水拭きしてください。

ゴムやビニール製品を長時間触れさせると、キャビネットを傷めることがありますので避けてください。化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

- ⚠️ お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、隣近所に迷惑をかけてしまうことがあります。

適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、お互いに快適な生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。



使用上の注意

- 本機の上には物を置かないでください。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。
- 再生中はディスクが高速回転しているので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。
- ガラスドア付きラックに設置した場合、ガラスドアを開けたままリモコンのトレイ開閉ボタン (OPEN/CLOSE) を押してディスクトレイを開けないでください。強い力でディスクトレイの動きが妨げられると、故障の原因になります。
- 本機を移動したり、引っ越しなどで梱包する場合は、必ずディスクを取り出してください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。
- 安定した場所に設置してください。

電源の極性について

付属の電源コードのプラグ部分のPSEマークは、本機のアース側を示しています。一般的に、家庭用電源コンセントの差し込み口は、長い溝の方がアース側です。

接続時の電源プラグの差し込む向き（極性）によって、音質が変わることがあります。お好みの音質となる向きで接続してください。



ディスクについて

下の表に表示されているマークはディスクレーベル、またはジャケットに付いています。本機はこの表のディスクをアダプターなしで再生することができます。この表のディスク以外は再生できません。

本機で再生できるディスクの種類とマーク

スーパーオーディオCD  SUPER AUDIO CD
音楽用CD  COMPACT disc DIGITAL AUDIO

上記以外のディスクを再生すると、大音量のノイズを発生してスピーカーを破損したり、聴覚を傷付ける恐れがあります。上記以外のディスクは絶対に再生しないでください。

- DVD ビデオ、DVD オーディオ、ビデオ CD、DVD-ROM、CD-ROM などは再生できません。
- コピーコントロール CD など、CD の標準規格に準拠していない特殊なディスクや DualDisc は正常に再生できないことがあります。本機で特殊なディスクを使用した際の動作や音質については保証いたしかねます。特殊なディスクの再生に支障がある場合は、該当するディスクの発売元にお問い合わせください。

CD-R/CD-RW について

本機は音楽 CD フォーマットで記録された CD-R/CD-RW を再生することができます。

- CD レコーダーで作成したディスクは、忘れずにファイナライズしてください。

ディスクの品質、記録の状態によっては再生できないことがあります。詳しくはお手持ちの機器の説明書をお読みください。

ディスクの取り扱い

- ディスクはレーベル面を上にしてセットしてください。
(コンパクトディスクの再生は片面だけです)
- ディスクをケースから取り出すときは、必ずケースの中心を一度押して、ディスクの外周部分を手ではさむように持ってください。

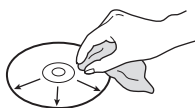
取り出し方



ディスクの持ち方

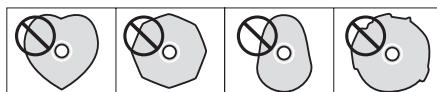


- 信号記録面(レーベルがない面)に傷、指紋、汚れなどがあると、再生時にエラーの原因となることがありますので、お取り扱いにはご注意ください。
- 信号記録面に指紋やほこりがついたら、柔らかい布で内側中心から外側へ直角方向に軽く拭いてください。ディスクの汚れは音質低下の原因となりますので、いつもきれいに清掃して保管してください。



- レコードクリーナー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。
- 直射日光が当たる場所や、高温多湿な場所には放置しないでください。
- ディスクのレーベル面に何か書き込むときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど、先端の固いペンを使うと、ディスク面を傷つけて再生ができなくなる場合があります。
- 再生が終わったディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。
- ディスクにラベルなどを貼らないでください。ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのシールなどを貼ったあとがあるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは使用しないでください。そのまま本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。

- 市販のCD用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因となります。
- ヒビが入ったディスクは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。
- ハート形や八角形など特殊形状のディスクは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。



- レーベル面に印刷するタイプのディスク(プリンタブルディスク)は使用しないでください。表面が特殊加工されているため、本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。

CD-R や CD-RW ディスクの取り扱いについてご不明な点がある場合は、直接ディスクのメーカーにお問い合わせください。

接続 (本体)

スーパーオーディオ CD/CD トランスポート (GRANDIOSO P1)

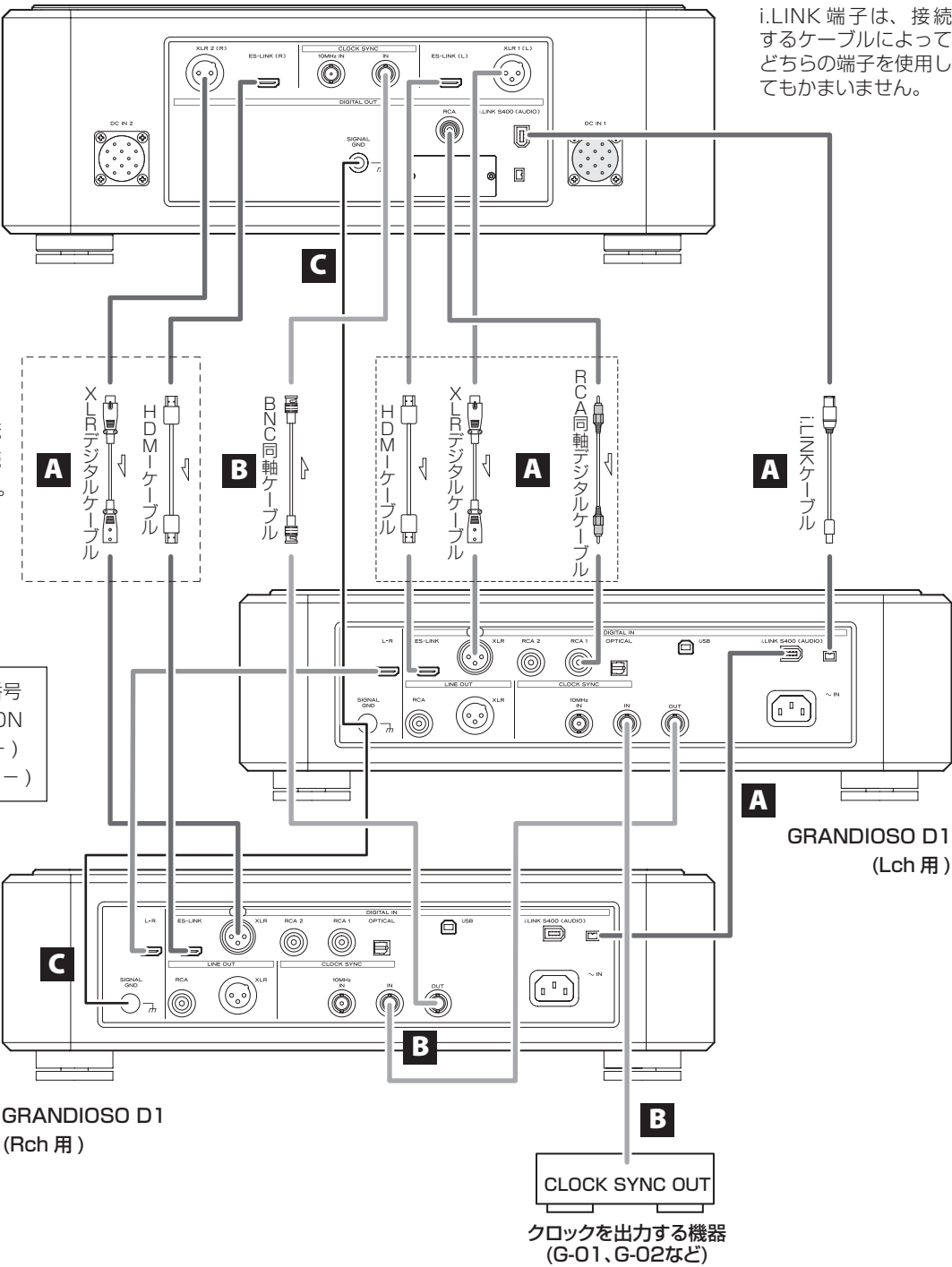
i.LINK 端子は、接続するケーブルによって、どちらの端子を使用してもかまいません。

どれか一系統を使って接続してください。

- XLR ピン番号
1. COMMON

2. HOT (+)

3. COLD (-)



A デジタル音声出力端子

デジタル音声を出力します。D/A コンバーター (D1 など) のデジタル入力端子と接続してください。

ES-LINK : HDMI ケーブル

以下の接続には市販のケーブルをお使いください。

XLR : XLR デジタルケーブル

RCA : RCA 同軸デジタルケーブル

i.LINK (AUDIO S400) :

S400 対応の 6 ピンまたは 4 ピンの

i.LINK ケーブル (IEEE1394 ケーブル)

- D/A コンバーターとの接続は、上記のどれか一系統を使って接続してください。

接続した端子に合わせて、各端子の出力設定を行ってください。(27 ページ)

- D1 との接続は ES-LINK 接続を推奨します。
- エソテリックの D/A コンバーター (D1/D-01/D-02/D-03/D-05) または Dual AES に対応している D/A コンバーターと接続する場合は、2 本のケーブルを使って本機の XLR1(L) 端子と D/A コンバーターの L 端子、本機の XLR2(R) 端子と D/A コンバーターの R 端子をそれぞれ接続してください。(Dual AES 接続)
- i.LINK(AUDIO) 端子は、接続した機器との双方向のデータ転送が可能なインターフェースです。入力 / 出力の区別はありません。
- i.LINK 端子は、6 ピンと 4 ピンの端子を備えています。接続するケーブルによってどちらかをご使用ください。
複数の機器と i.LINK ケーブルで接続する場合は、両方の端子を使ってください。(i.LINK ケーブルの接続については、33 ページをお読みください)

B クロックシンク入力端子 (CLOCK SYNC IN、10MHz IN)

同期信号 (クロック シンク) を入力します。

マスタークロックジェネレーターを使用する場合は、マスタークロックジェネレーターのクロック シンク出力端子 (CLOCK SYNC OUT) と本機のシンク入力端子 (CLOCK SYNC IN) を接続してください。

10MHz 発振器 (サイン波出力) の信号を入力する場合は、発振器の出力を本機の 10MHz IN 端子に接続してください。

- 「クロックシンク入力端子」の設定で、クロックシンクする端子を選んでください。(28 ページ)
- 接続には市販の BNC 同軸ケーブルをお使いください。(CLOCK SYNC IN: 75Ω 10MHz IN: 50Ω)

C アース端子 [SIGNAL GND]

アース端子を D/A コンバーターやアンプなどとアース接続すると、音質が良くなることがあります。

- 安全アースではありません。

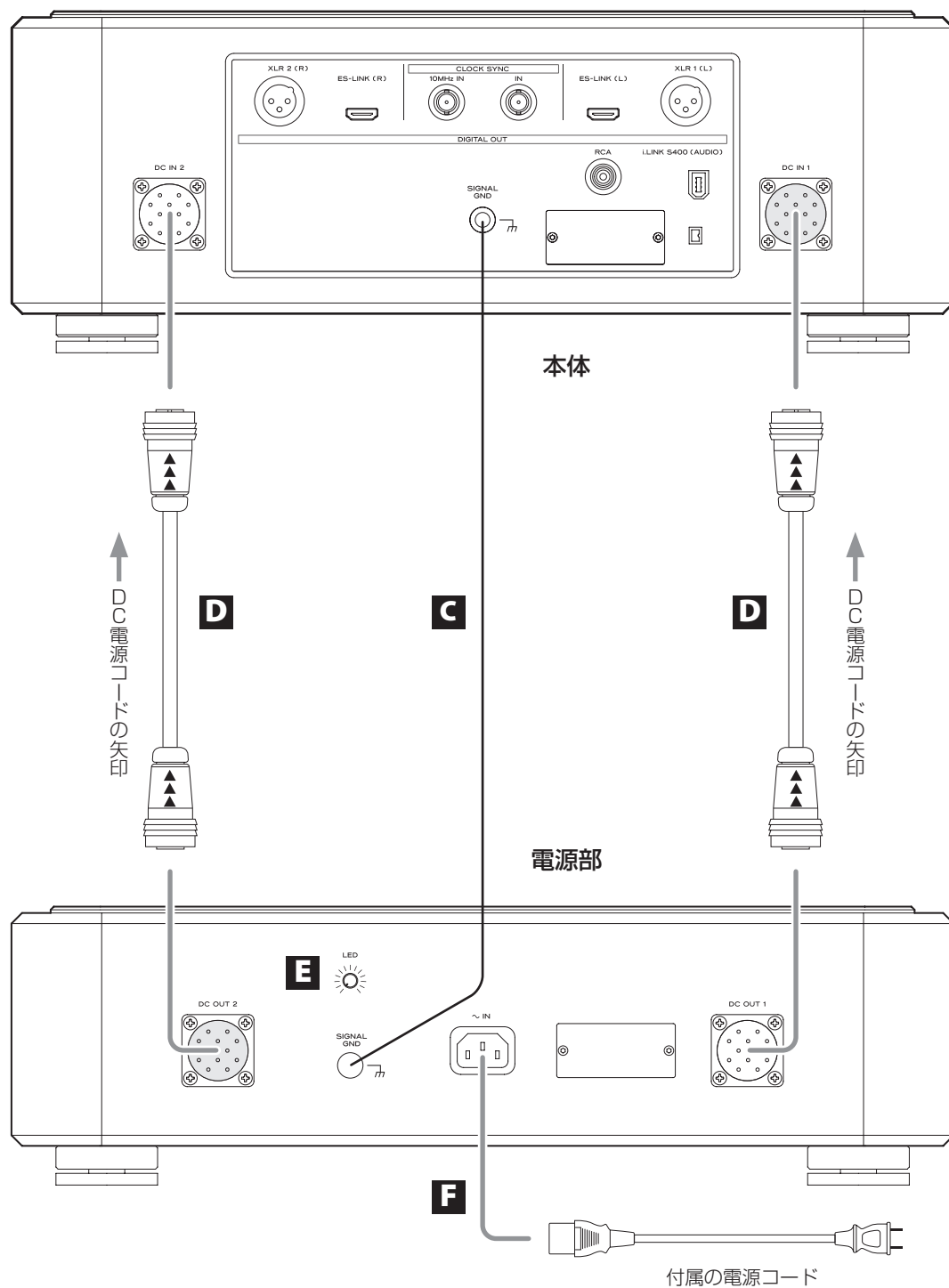
エソテリックでは、リファレンスとしてエソテリック MEXCEL ストレスフリーケーブルを使用しています。詳細については下記ウェブサイトをご覧ください。

<http://www.esoteric.jp/products/esoteric/accessory/index.html>

接 続 (電 源 部)

⚠ 接続時の注意

- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。

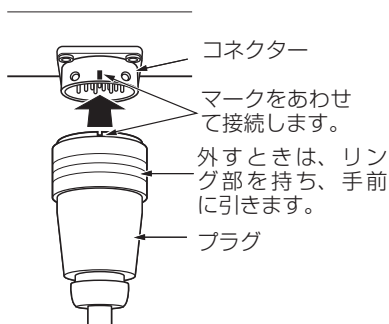


D DC 電源入出力端子

本体の DC 電源入力端子と、電源部の DC 電源出力端子を、付属の DC(直流) 電源接続コード 2 本を使って接続します。

DC OUT 1 ➡ DC IN 1
DC OUT 2 ➡ DC IN 2

- DC(直流) 電源接続コードには矢印が印刷されています。矢印が 12 ページの図の向きになるように接続してください。
DC(直流) 電源接続コードの凹凸と矢印の向きを確認してプラグ部を持ち、プラグとコネクターのマークを合わせて、カチッと音がするまで確実に押し込みます。外すときは、リング部を持って手前にまっすぐに引き抜いてください。抜き差しするときに、プラグを斜めにしたり揺らしたりしないでください。
- DC(直流) 電源接続コードを抜き差しするときは、電源スイッチは必ずオフにしておいてください。
- DC(直流) 電源接続コードを抜き差しするときは、リング部に指を挟まないようご注意ください。



- ⚠ P-0、P-01 の本体には絶対に接続しないでください。
故障の原因になります。

E LED 輝度調整つまみ

電源インジケータの明るさを調節します。

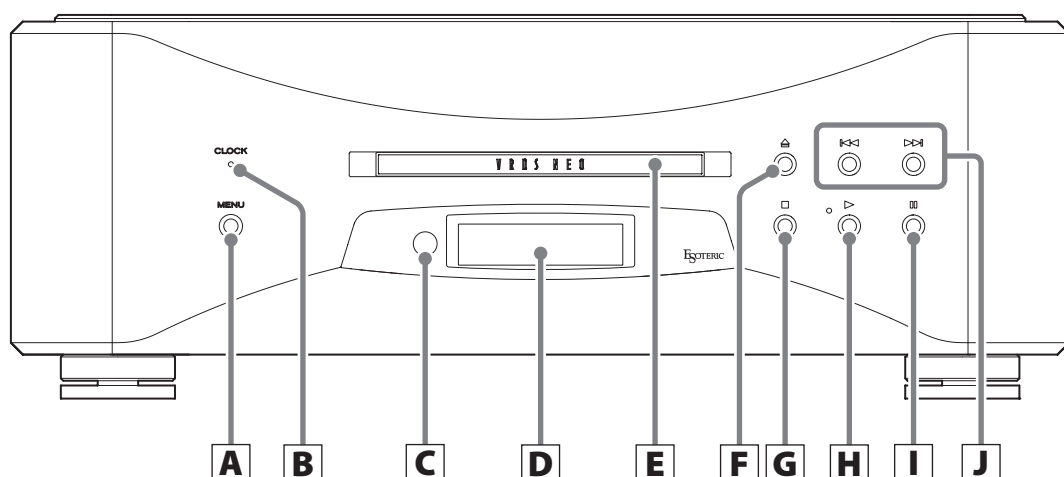
F 電源コード

電源コード接続ソケットに付属の電源コードを差し込んでください。全ての接続が終わったら、電源プラグを AC100V の電源コンセントに差し込んでください。

- 本機の電源コード接続ソケットは 3 ピン仕様になっていますが、アースピンはシャースには接続されていません。

- ⚠ エソテリック純正の電源コード以外は使わないでください。火災や感電の原因になることがあります。また、長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

各部の名称 (本体)



A メニューボタン (MENU)

設定モードに入ります。(26 ページ)

B クロックインジケーター (CLOCK)

クロックシンクの状態を表示します。
クロックシンクの設定を「SYNC」、「MCK22M」または「MCK10M」にすると点滅を始め、クロックを感知して同期すると点灯が変わります。

C リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。リモコンを使用するときは、リモコンの先端をこちらに向けて操作してください。(17 ページ)

D ディスプレー

再生時間や曲数などの情報を表示します。(25 ページ)

E ディスクトレイ

再生するディスクをセットします。(18 ページ)

F トレー開閉ボタン (▲)

ディスクトレイを開閉します。(20 ページ)

G 停止ボタン (■)

再生を停止します。(19 ページ)
停止中に 2 秒以上押し続けると、スーパーオーディオ CD の再生エリアを切り換えます。(24 ページ)
設定モード中に押すと、設定を終了して通常の表示に戻ります。(26 ページ)

H 再生ボタン (▶)

ディスクを再生します。(18 ページ)
再生中は PLAY インジケーターが点灯します。

I 一時停止ボタン (⏸)

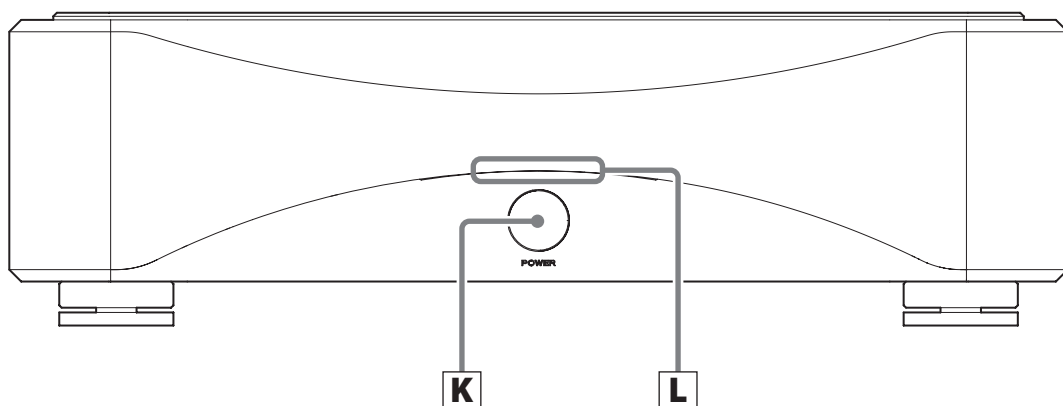
再生を一時停止します。(19 ページ)
一時停止中は PLAY インジケーターが点滅します。

J スキップボタン (⏮/⏭)

前または後ろにスキップします。(20 ページ)
再生中に 1 秒以上押し続けると早戻し / 早送りをします。1 秒以上の長押しをくり返すと、早戻し / 早送りのスピードが 3 段階に変わります。(21 ページ)
設定モード時のパラメーター変更に使用します。(26 ページ)

各部の名称 (電源部 / ディスプレー)

電源部



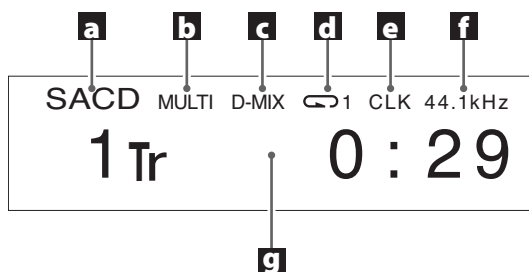
K 電源ボタン (POWER)

電源のオン、オフを行います。

L 電源インジケーター

電源がオンのとき青く光ります。

ディスプレイ



a ディスク表示

セットされているディスクの種類を表示します。

SACD : スーパーオーディオ CD

CD : 音楽用 CD

b マルチチャンネル表示

スーパーオーディオ CD のマルチチャンネルエリアが選択されているときに表示されます。

無表示 : 2 チャンネルエリア

MULTI : マルチチャンネルエリア

c ダウンミックス表示

スーパーオーディオ CD のマルチチャンネル音声を下ミックスして出力しているときに表示します。

d リピート表示

リピート再生中に表示します。(21 ページ)

e クロックシンクモード表示

クロックシンクモード設定を表示します。(28 ページ)

無表示 : OFF 選択時

CLK : IN を選択時

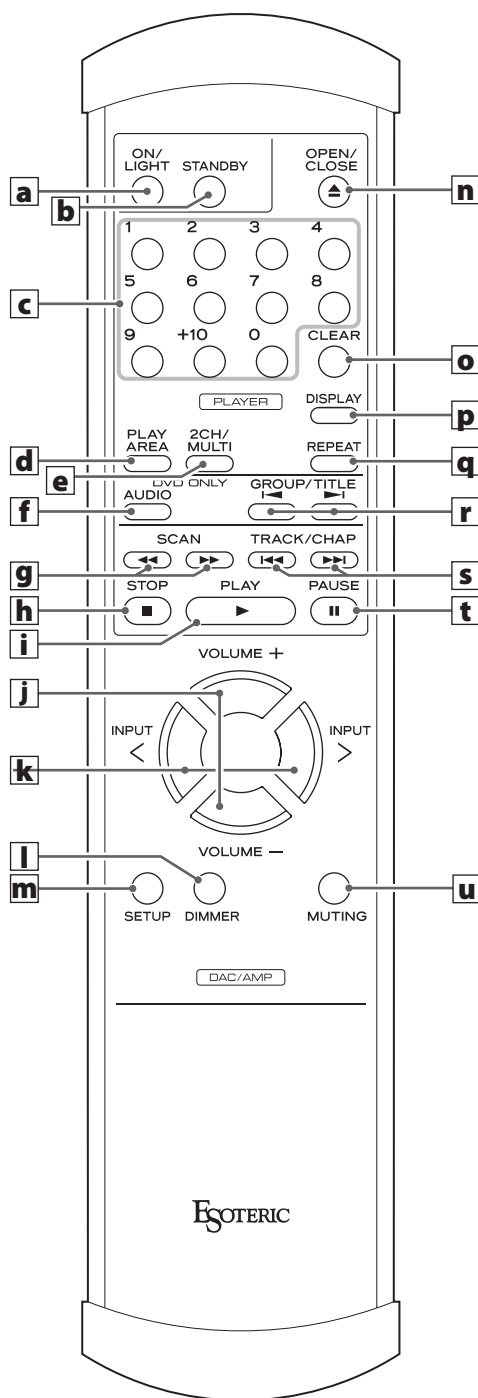
MCK : MCK22M もしくは MCK10M を選択時

f 入力クロック周波数表示

g メッセージ表示部

再生時間など各種メッセージが表示されます。

各部の名称 (リモコン)



本体とリモコンに同じ機能のボタンがある場合、この取扱説明書では本体のボタンを使って説明していますが、リモコンのボタンも同様に使えます。

a 照明ボタン (ON/LIGHT)

このボタンを押すと、リモコンの白いボタンが数秒間点灯します。

b スタンバイボタン (STANDBY)

本機では使用しません。

c 数字キー

選曲に使います。

d 再生エリアボタン (PLAY AREA)

停止中に押すと、スーパーオーディオ CD の再生エリアを切り換えます。(24 ページ)

e 2 チャンネル / マルチチャンネルボタン (2CH/MULTI)

音声出力モードの 2 チャンネル / マルチチャンネルを切り換えます。(24 ページ)

f オーディオボタン (AUDIO)

プログラム再生に使います。(22 ページ)

g スキャンボタン (◀◀/▶▶) (SCAN)

早戻し / 早送りに使用します。(21 ページ)

h 停止ボタン (STOP ■)

再生を停止します。

i 再生ボタン (PLAY ▶)

ディスクを再生します。

j 音量ボタン (VOLUME)

本機では使用しません。エソテリックの D/A コンバーター (D-02 など)、アンプなどで使用することができます。

k 入力切換ボタン (INPUT)

本機では使用しません。エソテリックの D/A コンバーター (GRANDIOSO D1 など)、アンプの入力切り換えに使用します。

l ディマーボタン (DIMMER)

本体のディスプレイの明るさを 4 段階で調節できます。(25 ページ)

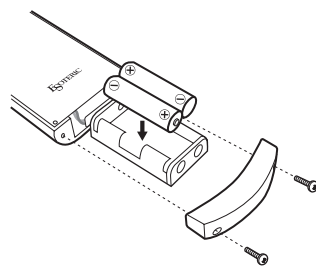
リモコンについて

リモコン使用上の注意

- リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて、7メートル以内の距離で操作してください。本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。
- リモコンの受光部に直射日光や照明の強い光が当たっていると、リモコン操作ができないことがあります。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

電池の入れ方

ドライバーを使ってリモコン下部のフタを外し、電池ケースを引き出してください。⊕と⊖の向きを確認して乾電池(単3形)2本を入れ、電池ケースを戻してフタを閉めてください。



電池の交換時期

操作範囲が狭くなったり、操作ボタンを押しても動作しない場合は、2本とも新しい電池に交換してください。使い終わった電池は電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村指定の廃棄方法に従って捨ててください。

⚠ 電池についての注意

乾電池を誤って使用すると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。6ページの注意をよく読んでご使用ください。

m セットアップボタン (SETUP)

本機では使用しません。エソテリックの D/A コンバーター (D-02 など)、アンプなどで使用することができます。

n トレー開閉ボタン (OPEN/CLOSE ▲)

ディスクトレーを開閉します。

o クリアボタン (CLEAR)

数字キーを押し間違えたときなどに使います。

p ディスプレーボタン (DISPLAY)

再生中または一時停止中にこのボタンを押すと、ディスプレイの表示が切り換わります。(25 ページ)

q リピートボタン (REPEAT)

リピート再生に使用します。(21 ページ)

r グループ / タイトルボタン (GROUP/TITLE ◀/▶)

本機では使用しません。

s スキップボタン (TRACK/CHAP ◀◀/▶▶)

前または後ろのトラックにスキップします。(20 ページ)

設定モード時のパラメーター変更に使用します。(26 ページ)

t 一時停止ボタン (PAUSE ||)

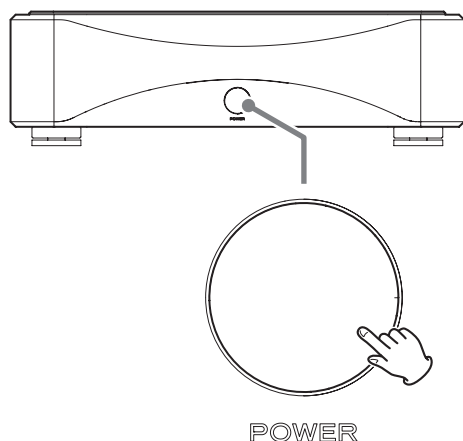
再生を一時停止します。(19 ページ)

u ミュートボタン (MUTING)

本機では使用しません。エソテリックの D/A コンバーター (D-02 など)、アンプのミュートイングのオン/オフに使用します。

基本操作

電源オン / オフ



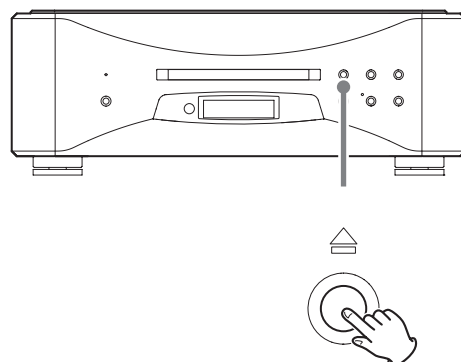
電源ボタン (POWER) を押すたびに、電源のオン / オフが切り換わります。オンのときは、電源インジケーターと本体のディスプレイが点灯します。

- 本機を使用するときは、接続してある機器 (D/A コンバーター、アンプなど) の電源もオンにしてください。

再生

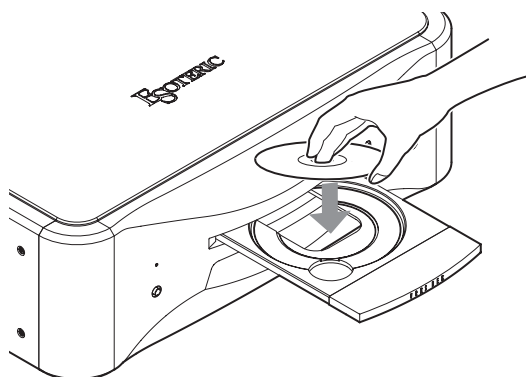
1 トレー開閉ボタン (▲) を押す。

ディスクトレイが手前に出ます。



- 本機はメカニズムの構造上、トレイが開く前にピックアップを最外周に移動しますので、トレイが開くまでに時間がかかります。

2 ディスクのレーベル面を上にしてトレイの中央にのせる。



- ディスクが中央のガイドから外れた状態でトレイを閉じると、ディスクが中で引っかかりトレイが開かなくなることがありますので、ディスクは必ずトレイの中央のガイドにしっかり合わせて置いてください。

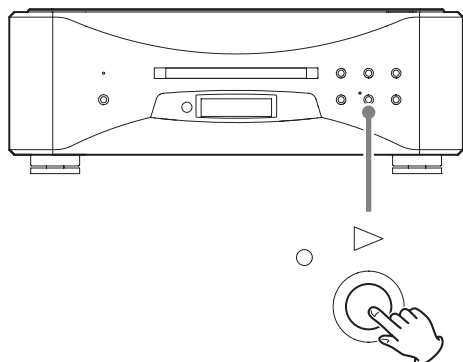
3 トレー開閉ボタン (▲) を押す。



ディスクトレイが引き込まれます。指を挟まないようにご注意ください。

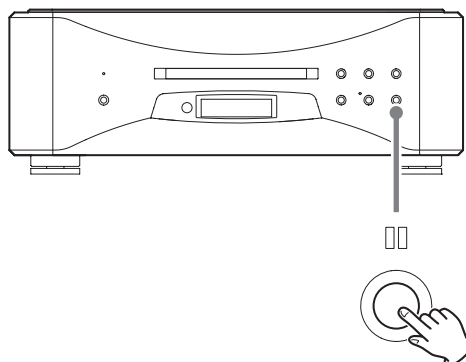
- ディスクの読み込みには多少時間がかかります。
- ディスクの読込モードを変更することができます。(29 ページ)

4 再生ボタン (▶) を押す。



再生が始まります。

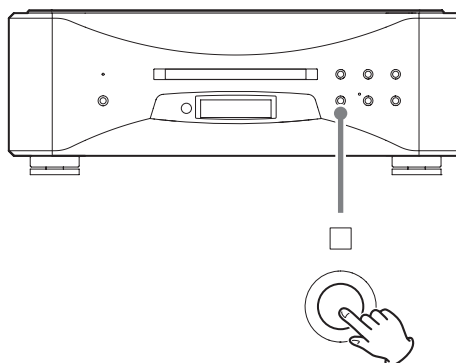
一時停止する



再生中に一時停止ボタン (||) を押すと再生が一時停止し、本体の再生ボタン (▶) のインジケーターが青く点滅します。

再生ボタン (▶) または一時停止ボタン (||) を押すと、再び再生が始まります。

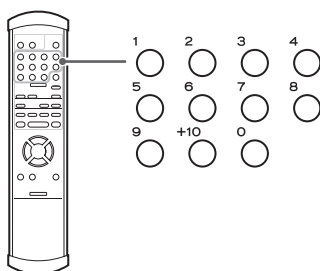
再生をやめる



停止ボタン (■) を押すと再生が停止します。

再 生 (続 き)

数字キーで選んで再生する



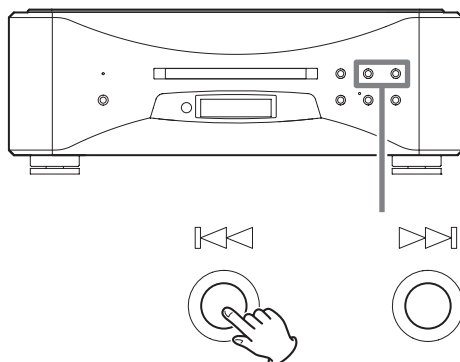
再生中または停止中に数字キーを押すと、その曲から再生を始めます。

例)

曲番 7 : 7

曲番 23 : +10 ⇒ +10 ⇒ 3

スキップする

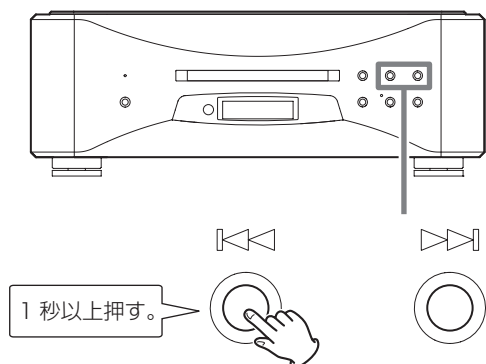


再生中にスキップボタン (◀◀ / ▶▶) を押すと、前または後ろの曲にスキップして再生を始めます。

- ◀◀ ボタンを 1 回押すと、再生中の曲の頭に戻ります。それより前に戻りたいときは、◀◀ ボタンを続けて押してください。ただし、曲の最初の 1 秒以内に ◀◀ ボタンを押した場合は、前の曲にスキップします。
- 停止中または一時停止中に ◀◀ / ▶▶ ボタンを押すと、選んだ曲の頭で一時停止状態になります。

リピート再生

早戻し / 早送りする (スキャン)

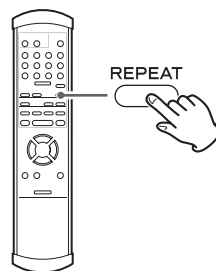
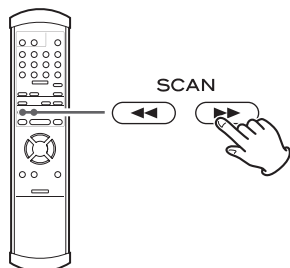


再生中にスキップボタン (◀◀ / ▶▶) を 1 秒以上押し続ける (以下長押しと表記) と早戻し / 早送りができます。聴きたい部分が見つかりましたら、再生ボタン (PLAY) を押してください。

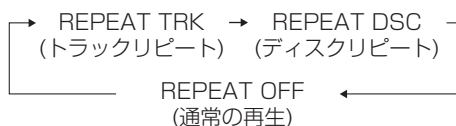
スキップボタン (◀◀ / ▶▶) を長押しするたびに早戻し / 早送りの速度が変わります。速度は 3 段階あります。

- ▶▶ : 早送り (1) → 早送り (2) → 早送り (3)
→ 通常の再生
- ◀◀ : 早戻し (1) → 早戻し (2) → 早戻し (3)
→ 通常の再生

リモコンで操作するときは、スキャンボタン (◀◀ / ▶▶) を押してください。



再生中にリピートボタン (REPEAT) を押すたびに、リピートモードが変わります。



トラックリピート

再生中の曲をくり返し再生します。リピート再生中に他の曲を選ぶと、その曲をくり返し再生します。

ディスクリピート

再生中のディスクの全曲をくり返し再生します。

リピート再生中は、リピートモードが表示されます。

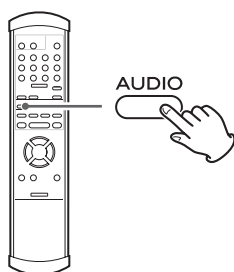
- 再生を停止するとリピート再生は解除されます。

プログラム再生

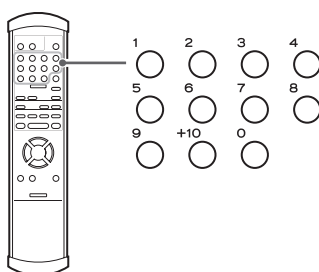
聴きたい曲を順番に 30 曲までプログラムできます。

1 停止中または再生中にオーディオボタン (AUDIO) を押す。

再生中の場合は、その曲が 1 番目にプログラムされます。



2 数字キーでプログラムしたい曲番を選ぶ。



例) 3 の場合 : 3

12 の場合 : +10 → 2

20 の場合 : +10 → +10 → 0



プログラムされたトラック番号

プログラム番号

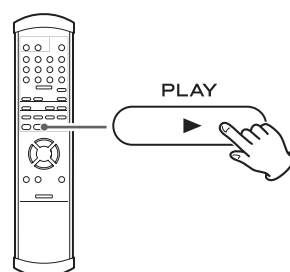
複数の曲をプログラムするときは、続けて数字キーを押してください。

- 数字キーを押し間違えた場合は、クリアボタン (CLEAR) を押してください。最後にプログラムした曲番が削除されます。
- そのディスクに存在しない曲番はプログラムできません。

3 プログラムが完了したら、再生ボタン (▶) を押す。

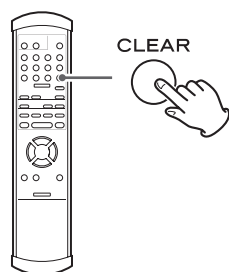
プログラム再生が始まります。

- 再生中にプログラムした場合は、再生ボタン (▶) を押す必要はありません。



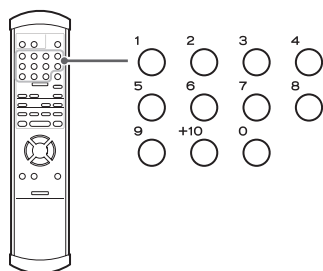
プログラムした最後の曲番を削除するには

停止中または再生中に、クリアボタン (CLEAR) を押すと最後にプログラムした曲番が削除されます。再度数字ボタンを使って入れ直すこともできます。



プログラムの最後に曲を追加するには

停止中または再生中に、数字キーで追加したい曲番を選んでください。

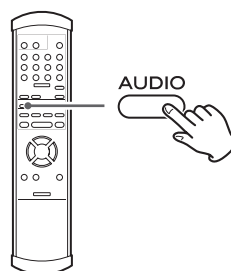


全てのプログラム内容を消去して通常の再生に戻るには

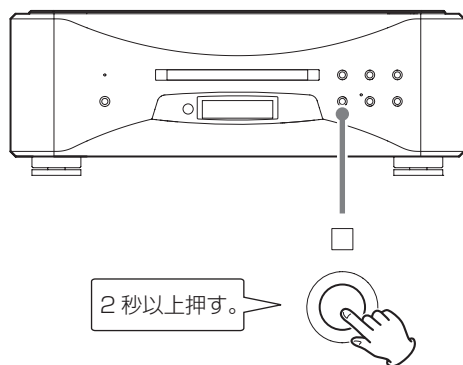
停止中または再生中に、オーディオボタン (AUDIO) を押すとプログラムモードは解除されます。プログラム再生中にオーディオボタン (AUDIO) を押した場合は、そこから通常の再生に戻ります。

- プログラム内容は消去されます。

また、停止中または再生中にトレイ開閉ボタン (▲) や本体の電源ボタンを押した場合もプログラム内容は消去されます。



再生エリアの切換



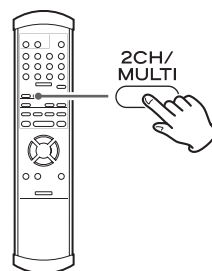
スーパーオーディオ CD には、ステレオ (2 チャンネル) とマルチチャンネルなど複数のエリアを持つものや、スーパーオーディオ CD と CD の 2 層構造 (ハイブリッド) になっているものがあります。
停止中に停止ボタンを 2 秒以上押すと、再生エリアを切り換えることができます。

リモコンで操作するときは、停止中にリモコンの再生エリアボタン (PLAY AREA) を押します。



- ハイブリッドディスクについては、設定モードの LAYER (優先再生エリア) で、スーパーオーディオ CD と CD のどちらの層を優先的に再生するのかあらかじめ設定しておくこともできます。(29 ページ)
- リモコンの 2 チャンネル / マルチチャンネルボタン (2CH/MULTI) で音声の出力を設定すると、スーパーオーディオ CD のマルチチャンネルと 2 チャンネル両方のエリアを持ったディスクを読み込むときに、優先的に設定に合ったエリアを読み込みます。(24 ページ)
- スーパーオーディオ CD の 2 チャンネルエリアを選択すると、「SACD 2ch」と表示されます。スーパーオーディオ CD のマルチチャンネルエリアを選択すると、「SACD Multi」と表示されます。CD のエリアを選択すると、「CD Area」と表示されます。
- スーパーオーディオ CD のマルチチャンネルエリアを選択しているとき「MULTI」が表示されます。

2 チャンネル / マルチチャンネルの切換



停止中に 2 チャンネル / マルチチャンネルボタン (2CH/MULTI) を押すたびに、2 チャンネル / マルチチャンネルの設定が切り換わります。

2ch (2 チャンネル)

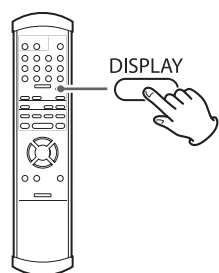
2 チャンネルの音声を出力します。
この設定にすると、スーパーオーディオ CD のマルチチャンネルと 2 チャンネル両方のエリアを持ったディスクを読み込むときに、2 チャンネルのエリアを優先的に読み込みます。再生エリアの切換は、ディスクを読み込んだ後で行えます。(左記「再生エリアの切換」参照)
マルチチャンネルのソースを再生した場合は、音声はフロント L、R にダウンミックスされます。(「D-MIX」が表示されます。)
ステレオ再生するときに選んでください。

Multi (マルチチャンネル)

マルチチャンネルに対応した D/A コンバーターやアンプを接続する場合に選んでください。
この設定にすると、スーパーオーディオ CD のマルチチャンネルと 2 チャンネル両方のエリアを持ったディスクを読み込むときに、マルチチャンネルのエリアを優先的に読み込みます。再生エリアの切換は、ディスクを読み込んだ後で行えます。(左記「再生エリアの切換」参照)
2 チャンネルのソースを再生した場合は、音声はフロント L、R からのみ出力されます。

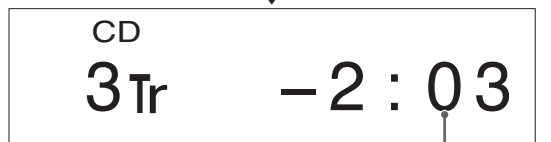
- 再生中は切り換えできません。再生を停止してから切り換えてください。

ディスプレイ



ディスクの再生中または一時停止中にディスプレイボタン (DISPLAY) を押すと、ディスプレイの表示が次のように切り換わります。

例)

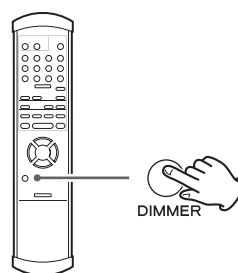


- 停止中は、ディスクの総トラック数と総再生時間を表示します。

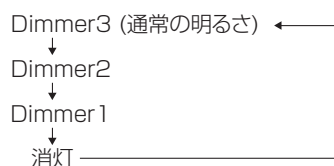
例)



ディマー



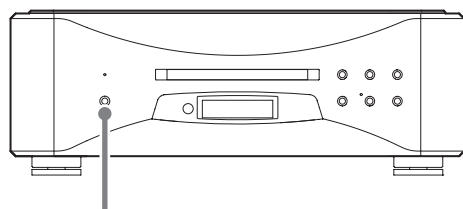
本体のディスプレイとインジケータの明るさを調節できます。



- 「消灯」を選ぶと、ディスプレイが消灯します。
- 消灯中に再生ボタンなどを押すと、約 3 秒間ディスプレイが点灯します。
- Dimmer3 以外が選択されていても、エラー表示や設定メニュー表示を行っている時は、通常の明るさ (Dimmer 3) になります。

設定モード

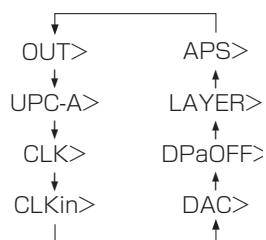
- 1** メニューボタン (MENU) をくり返し押して、変更する項目を選ぶ。



MENU

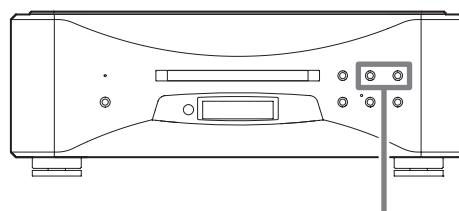


メニューボタン (MENU) を押すたびに、以下のようにディスプレイの表示が変わります。



- 10 秒以上放置すると、設定モードは解除されて通常の表示に戻ります。
- 停止ボタン (■) を押すと設定モードは解除されます。
- 停止状態のときのみ設定の変更ができます。再生をしているときは、停止ボタン (■) を押して停止状態にしてから操作してください。

- 2** ◀◀/▶▶ ボタンを使って、設定を変更する。



各設定内容については、27 ~ 29 ページをお読みください。

10 秒以上放置するか、停止ボタン (■) を 1 回押すと、設定を終了して通常の表示に戻ります。

- リモコンのスキップボタン (◀◀/▶▶) でも操作できます。
- 設定した内容は、電源プラグを抜いた状態で放置しても半永久的に保持されます。

設定モード時の表示と内容

OUT> * * *

出力端子 / フォーマット設定
出力端子と接続する D/A コンバーターの種類を設定してください。

UPC-A > * * *

アップコンバート・アルゴリズム設定
CD 再生時のアップコンバートアルゴリズムを設定します。

CLK > * * *

クロックシンクモード設定

CLKin> * * *

クロックシンク入力端子設定。
クロックシンクする信号の入力端子を切り換えます。

DAC > * * *

D/A コンバーター設定
接続する D/A コンバーターの種類を設定します。

DPaOFF > * * *

自動ディスプレイ消灯設定

LAYER > * * *

優先再生エリア設定
スーパーオーディオ CD と CD の 2 層構造になっているハイブリッドディスクをセットしたときに、どの層を優先的に再生するのかが設定します。

APS > * * *

オート・パワー・セーブ機能設定

出力端子 / フォーマット設定

OUT> * * *

出力端子と接続する D/A コンバーターの種類を設定してください。
出荷時は「ESLINK」に設定されています。

ESLINK

ES-LINK 端子からオーディオ信号を出力します。
CD 再生時は、8 倍アップコンバート、48bit フォーマットで出力します。

DUAL_8

XLR 出力を 2 本使いし、R 独立で出力します。
CD は 8 倍にアップコンバートし出力します。

DUAL_4

XLR 出力を 2 本使いし、R 独立で出力します。
CD は 4 倍にアップコンバートし出力します。

DUAL_2

XLR 出力を 2 本使いし、R 独立で出力します。
CD は 2 倍にアップコンバートし出力します。

XLR_4

XLR 出力 1 本でステレオ信号を出力します。
CD は 4 倍にアップコンバートし出力します。

XLR_2

XLR 出力 1 本でステレオ信号を出力します。
CD は 2 倍にアップコンバートし出力します。

XLR_1

XLR 出力 1 本でステレオ信号を出力します。
CD のアップコンバートは行いません。

RCA_4

RCA 出力 1 本でステレオ信号を出力します。
CD は 4 倍にアップコンバートし出力します。SA-CD は出力できません。

RCA_2

RCA 出力 1 本でステレオ信号を出力します。
CD は 2 倍にアップコンバートし出力します。SA-CD は出力できません。

RCA_1

RCA 出力 1 本でステレオ信号を出力します。
CD のアップコンバートは行いません。SA-CD は出力できません。

i.LINK

i.LINK 端子からオーディオ信号を出力します。

設定モード (続き)

アップコンバート・アルゴリズム設定

UPC-A > * * *

CD 再生時のアップコンバートアルゴリズムを設定します。
出荷時は「NF」に設定されています。

NF

アップコンバートのときにローパスフィルターを使用しません。

FIR

アップコンバート時に FIR 型のローパスフィルターを使用します。

クロックシンクモード設定

CLK > * * *

出荷時は「OFF」に設定されています。

OFF

内蔵の水晶発振器をマスタークロックとして動作します。

IN

外部クロックに内蔵水晶発振器を同期させて動作します。

MCK22M

外部から入力された 22.5792MHz をマスタークロックとして動作します。

MCK10M

外部から入力された 10MHz をオーディオ出力のマスタークロックとして動作します。

CD 再生時は、PLL 回路を使用せず、入力された 10MHz をオーディオ出力用のマスタークロックとして使用します。

SA-CD 再生時は、10MHz に同期した 22.5792MHz をマスタークロックとして動作します。

クロックシンク入力端子設定

CLKin> * * *

クロックシンク入力端子設定。
クロックシンクする信号の入力端子を切り換えます。
出荷時は「CLK」に設定されています。

CLK

CLOCK IN 端子 (入力インピーダンス 75Ω) に入力された信号を使います。

10M

10M IN 端子 (入力インピーダンス 50Ω) に入力された信号を使います。

D/A コンバーター設定

DAC > * * *

接続する D/A コンバーターの種類を設定します。設定された種類により、SA-CD 再生時の出力の可否や著作権保護の暗号化の種類を設定します。
出荷時は「ESL3」に設定されています。

ESL3

ESOTERIC GRANDIOSO-D1、D-02 と接続するときに設定してください。

ESLINK、DUAL 接続を選択し、CD を再生時は ESOTERIC 独自の ESL3 48bit フォーマットで出力されます。SA-CD 再生時は、ESL2 フォーマットで出力を行います。DUAL_8 を選択した場合は 24bit の AES/EBU フォーマットで出力されます。

ESL2

ESOTERIC D-03、D-05、D-07、D-07X と接続する場合に設定してください。

CD 再生時は、24bit フォーマットで出力されます。SA-CD 再生時は、ESL2 フォーマットで出力を行います。

ESL1

ESOTERIC D-01 と接続するときに設定してください。
CD 再生時は、24bit フォーマットで出力されます。
SA-CD 再生時は、ESL1 フォーマットで出力を行います。

Other

上記の D/A コンバーター以外と接続する場合に設定してください。

i.LINK 以外の端子からの SA-CD の出力を行いません。

自動ディスプレイ消灯設定

DPaOFF > * * *

ディスプレイ表示を一定時間経過後、自動的に消灯する設定ができます。

出荷時は、「ON」に設定されています。

ON

30 分間表示に変化がない場合にディスプレイを自動で消灯します。

表示管は、同じ表示状態で長時間放置すると、輝度ムラなどの原因となりますので、自動消灯設定をお勧めいたします。

OFF

自動消灯を行いません。

優先再生エリア設定

LAYER > * * *

スーパーオーディオ CD の中には、2 チャンネルとマルチチャンネルが記録されたディスクや、スーパーオーディオ CD と CD の 2 層構造になっているハイブリッドディスクがあります。

ハイブリッドディスクをセットしたときに、最初に読み込むエリアを設定します。

出荷時は「SACD」に設定されています。

SACD

SA-CD エリアを最初に読み込みます。

CD

CD エリアを最初に読み込みます。

CD エリアを最初に聴きたい場合、DSD に対応していない D/A コンバーターと接続している場合に設定してください。

オート・パワー・セーブ機能設定

APS > * * *

オート・パワー・セーブ機能の設定

出荷時は、「30m」に設定されています。

30m

無操作で再生をしていない状態が 30 分続いた場合、電源を自動的に OFF します。

60m

無操作で再生をしていない状態が 60 分続いた場合、電源を自動的に OFF します。

90m

無操作で再生をしていない状態が 90 分続いた場合、電源を自動的に OFF します。

120m

無操作で再生をしていない状態が 120 分続いた場合、電源を自動的に OFF します。

OFF

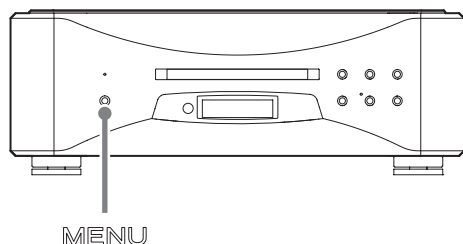
オート・パワー・セーブ機能を使用しません。

出荷時の状態に戻す

設定した内容は、電源プラグを抜いた状態で放置しても半永久的に保持されます。

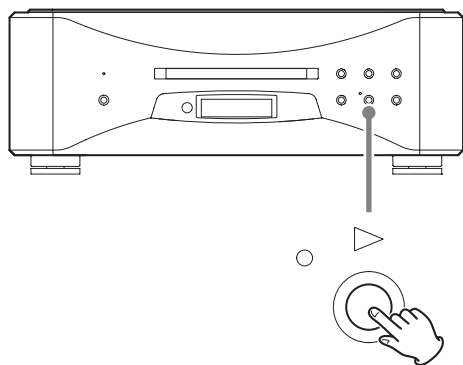
以下の操作をすると、設定した内容を工場出荷時の状態に戻し、すべてのメモリーを消去します。

1 メニューボタン (MENU) を 5 秒以上押す。



ディスプレイに「Setup CLR?」と表示されます。

2 再生ボタン (▶) を押す。



ディスプレイに「Setup CLR」(設定消去)が表示され設定が工場出荷時の状態に戻ります。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。また、本機以外の原因も考えられます。接続した機器の使用方法も合わせてご確認ください。

それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (37 ページに記載) にご連絡ください。

電源が入らない。

- ➔ 電源コードが、本体背面のインレットとコンセントに接続されているか確認してください。
- ➔ 電源コードが、接続されたコンセントに電流が流れているか、別の機器を接続するなどして確認してください。
- ➔ 本体と電源を繋ぐ DC ケーブルが正しく接続されているか確認してください。

リモコンで操作できない。

- ➔ 本体の電源をオンにしてください。(18 ページ)
- ➔ 電池が消耗していたら、2 本とも新しい電池に交換してください。(17 ページ)
- ➔ 本体とリモコンの間に障害物があると操作できません。本体の正面から 7 メートル以内の距離で、本体の方を向けて操作してください。(17 ページ)

他の電子機器が誤動作する。

- ➔ ワイヤレスリモコン機能を持つ電子機器は、本機のリモコン操作により誤動作する可能性があります。

再生できない。

- ➔ ディスクをトレイの中心に正しくセットしてください。
- ➔ ディスクが裏返しになっている場合は、ディスクのレーベル面を上にして入れ直してください。
- ➔ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。(9 ページ)
- ➔ 本機の内部が結露している場合は、電源を入れて 1、2 時間放置してください。(31 ページ)

ボタンを押しても反応しない。

- ➔ 続けてボタンを押すと、機械側が対応できずに動作しないことがあります。ボタンを押すときは、機械が反応するまで少しお待ちください。

雑音がする。

- ➔ テレビなど強い磁気を帯びたものからはできるだけ離して設置してください。

スピーカーから音が出ない。音が歪む。

- ➡ D/A コンバーター、アンプ、スピーカーとの接続を確認してください。(10 ページ)
- ➡ 接続した端子に合わせて、デジタル出力を切り換えてください。(27 ページ)
- ➡ アンプなどの音量を調節してください。
- ➡ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。(9 ページ)
- ➡ 一時停止中は音が出ません。再生ボタン (▶) を押して通常の再生に戻してください。

スーパーオーディオ CD のデジタル音声を出力できない。

- ➡ スーパーオーディオ CD のデジタル音声を出力するためには、エソテリックの D/A コンバーター (D1/D-02/D-05/D-03/D-01)、または i.LINK (AUDIO) 端子のある D/A コンバーターが必要です。
- ➡ マルチチャンネルの音声を出力するためには、i.LINK (AUDIO) 端子をマルチチャンネル対応の D/A コンバーターと接続し、「2 チャンネル / マルチチャンネルの切換」を「Multi」にして、ディスクの再生エリアを「SACD」にして再生してください。(24 ページ)

クロックインジケーター (CLOCK) が点滅したままで、点灯にならない。

- ➡ クロックが入力されてない時は、クロックシンクモード設定を「OFF」にしてください。(28 ページ)
- ➡ 同期できない信号が入力されている可能性があります。クロックシンク端子の接続や、接続している機器の設定を確認してください。

「CLOCK!」が表示される。

- ➡ クロック設定や、接続に問題があります。クロック設定は、28 ページの「クロックシンクモード設定」と「クロックシンク入力端子設定」、接続については 10 ページの「接続 (本体)」を確認してください。

ディストレーの開閉時に「TRAY!」が表示される。

- ➡ ディストレーの前に障害物があったり、ディスクが正しくセットされていないと、開閉の途中でトレイが止まり、「TRAY!」が表示されます。原因を取り除いてからトレイ開閉ボタン (OPEN/CLOSE) を押せば、トレイは元の位置に戻ります。

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦電源を切り、約 1 分後に始めから操作してください。

結露現象について

本機を寒い戸外から暖かい室内に持ち込んだり、設置した部屋の暖房を入れた直後などには、動作部やレンズに水滴がついて正常に動作しないことがあります。この場合は、電源を入れて 1 ～ 2 時間そのまま放置してください。正常に再生できるようになります。

仕 様

再生可能ディスク

スーパーオーディオ CD、CD、CD-R、CD-RW

デジタル出力

HDMI 端子.....2 系統
XLR 端子.....2 系統
(Dual AES 出力時は、2 つの端子を使用するので
1 系統になります)

i.LINK(AUDIO) 端子 (6 ピン) 1 系統
i.LINK(AUDIO) 端子 (4 ピン) 1 系統
RCA 端子.....1 系統

クロックシンク

端子.....BNC×2
入力周波数

44.1kHz、88.2kHz、176.4kHz
10MHz、22.5792MHz

入力インピーダンス

WORD IN.....75Ω
10MHz IN.....50Ω

入力レベル

WORD IN.....TTL レベル相当
10MHz IN.....サイン波 0.5 ～ 1.0Vrms

クロック周波数レンジ.....±10ppm

一般

電源.....100V AC 50-60Hz

消費電力.....24W

外形寸法 (W×H×D、突起部含む)

本体.....445mm×162mm×448mm

電源部.....445mm×132mm×452mm

質量

本体.....27kg

電源部.....24kg

許容動作温度.....+ 5℃～+ 35℃

許容動作湿度.....5%～85% (結露のないこと)

許容保管温度.....- 20℃～+ 55℃

付属品

電源コード × 1

DC 電源コード × 2

HDMI ケーブル × 1

リモコン (RC-1156) × 1

リモコン用乾電池 (単 3) × 2 本

フェルト × 4 枚

取扱説明書 (本誌) × 1

ご愛用者カード × 1

取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。
仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。

i.LINK (IEEE 1394)

i.LINK とは、国際標準規格である IEEE 1394 の別称です。本機は i.LINK (AUDIO) に対応しています。

本機の i.LINK (AUDIO) 端子に i.LINK (AUDIO) 対応機器を i.LINK ケーブルで接続すると、2 チャンネルリニア PCM 信号やマルチチャンネルの圧縮オーディオ信号に加え、従来アナログでしか伝送できなかったスーパーオーディオ CD のマルチチャンネル信号をデジタルのまま伝送することができます。複数の i.LINK 対応機器を接続する場合、他の機器を経由して接続してもデータのやりとりが可能ですので、接続順序を意識する必要がありません。

著作権保護システム DTCP

i.LINK を使ってスーパーオーディオ CD の音声を再生するためには、再生機器と D/A コンバーターの双方が著作権保護システム DTCP (Digital Transmission Content Protection) に対応していなければなりません。

本機は DTCP に対応しています。

データ転送速度

i.LINK 対応機器のデータ転送速度には、100Mbps (S100)、200Mbps (S200)、400Mbps (S400) の 3 種類があります。本機の最大データ転送速度は 400Mbps です。

接続には、市販の S400 対応の 6 ピンまたは 4 ピン i.LINK ケーブルをお使いください。

複数の機器を接続するときに、データ転送速度の遅い機器を間に挟むと、データ転送速度が遅くなります。できるだけデータ転送速度が同じ機器を上流に並べて接続してください。

注意

- i.LINK の伝送フォーマットには、本機の「i.LINK (AUDIO)」(A&M プロトコル) の他に、BS デジタルなどの「MPEG-2 TS」、DVD レコーダーやデジタルビデオの「DV」などがあります。本機に i.LINK (AUDIO) 非対応の機器 (パソコンの周辺機器など) を接続すると、誤動作や故障の原因になりますので、絶対に接続しないでください。
- データ転送中は、つながっている機器の i.LINK ケーブルを抜き差ししたり、電源をオン / オフしないでください。
- i.LINK 対応機器によっては、電源がオンになっていないとデータを中継できないものがあります。

- i.LINK に対応していても、機器によっては動作しないことがあります。

- 受信側の機器が本機の出力モードに対応していないことがあります。接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

複数の i.LINK 機器を接続するには

デジチェーン接続 (数珠つなぎ)

数珠つなぎに一系列に接続する場合は、本機を含めて 17 台まで接続できます。



ツリー接続

i.LINK 端子を 3 個以上備えている機器がある場合、途中で分岐して接続することもできます。本機を含めて 17 台まで接続できます。



信号を出力した機器に、同じ信号が戻ってしまうと動作しません。接続が輪 (ループ) にならないように注意してください。



スーパーオーディオ CD をダウンミックスなしでマルチチャンネル再生するためには i.LINK 接続が必要です。

この機器の i.LINK インターフェースは、以下の規格に基づいて設計されています。

- 1) IEEE Std 1394a-2000, Standard for a High Performance Serial Bus
- 2) Audio and Music Data Transmission Protocol 2.0

この規格の AM824 sequence adaptation layers の中の、IEC60958 bitstream、スーパーオーディオ CD に対応しています。

保証とアフターサービス

■保証書

保証書はご愛用者カードと引き換えに発行いたします。

添付のご愛用者カードに必要な事項を御記入の上、ご購入後なるべく 1 ヶ月以内にご返送ください。保証書が届きましたら、保証内容をご確認の上、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日から 3 年です。

- 保証書発行には約 1 ヶ月程度かかります。あらかじめご了承ください。
- ご記入頂いたご愛用者カードのご購入日が弊社出荷日と大きく異なる場合（6 ヶ月以上ご愛用者カードの返送がない場合、ご愛用者カードでのユーザー登録をせず転売された場合等）は、保証書を発行できない場合があります。

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、弊社サービス部門が無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、保証書をご提示の上、弊社サービス部門またはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前に弊社サービス部門にお問い合わせください。なお、離島および離島に準じる遠隔地への出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居、ご贈答品等でお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社サービス部門にご連絡ください。
4. 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
 - (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - (2) お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
 - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
 - (4) 接続している他の機器に起因する故障および損傷
 - (5) 業務用の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
 - (6) 消耗品の自然消耗、磨耗、劣化や寿命部品等の交換が必要となった場合のメンテナンスやオーバーホール
 - (7) 保証書の提示がない場合
 - (8) 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名（印）の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
6. 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後 8 年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（37 ページに記載）にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

30 ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（37 ページに記載）にご連絡ください。なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害（録音内容などの補償）の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。
測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。

部品代：修理に使用した部品代金です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：スーパーオーディオCD/CDトランスポート
GRANDIOSO P1

シリアルナンバー：

お買い上げ日：

販売店名：

お客様のご連絡先

故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するとき

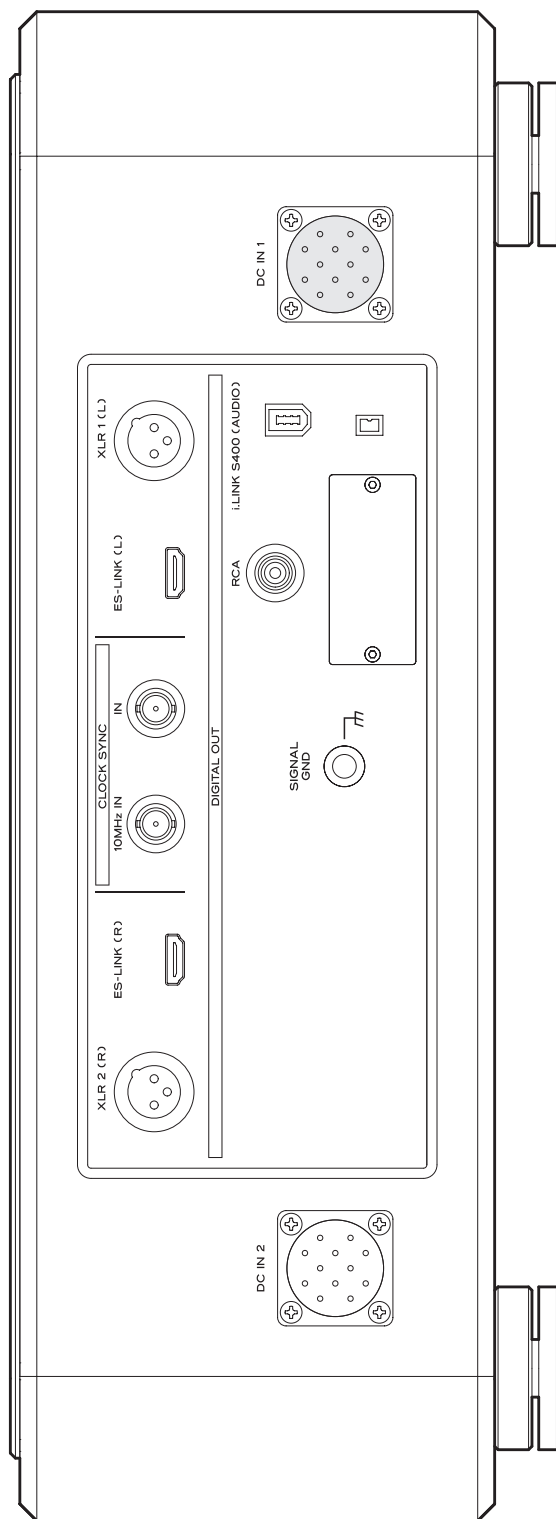
本機を廃棄する場合に必要な収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止

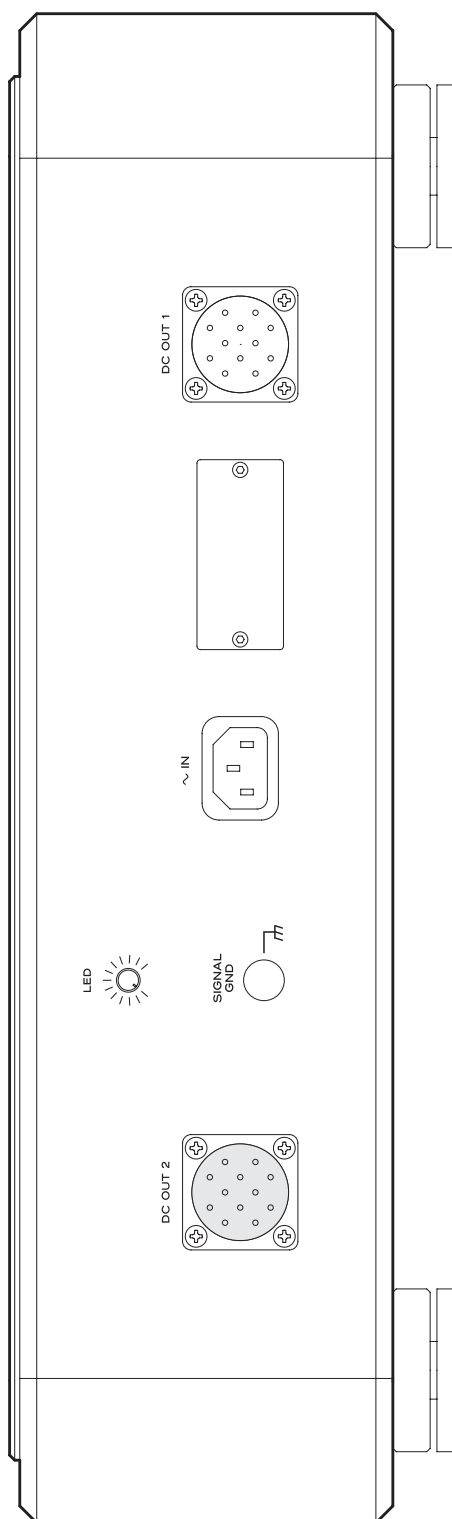
この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じて、当社は一切の責任を負いません。

リアパネル (本体)



リアパネル (電源部)



エソテリック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47

<http://www.esoteric.jp/>

この製品のお取り扱い等に関するお問い合わせは

AVお客様相談室までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～12:00/13:00～17:00です。

AVお客様相談室

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。



0570-000-701

〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47

電話：042-356-9235 / FAX：042-356-9242

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

ティアック修理センター

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。



0570-000-501

〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858

電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

ESOTERIC